

<b>アトラジン・S-メトラクロール水和剤 ゲザノンゴールド</b>	<b>取扱メーカー：</b> シンジェンタ  <b>原体メーカー：</b> シンジェンタ、シンジェンタ
<b>成分：</b> アトラジン〔トリアジン系 PRTR・1種〕………27.8% S-メトラクロール〔酸アミド系 PRTR・1種〕………26.4%	<b>性状：</b> 類白色水和性粘稠懸濁液体 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】 ……………

- 幅広い一年生雑草に除草効果を示す。
- とうもろこしに安全性が高く、土壌処理（は種後発芽前）でも生育期処理（とうもろこし2～4葉期）でも使用できる。
- イチビ、アレチウリ、ヨウシュチョウセンアサガオなどの強害帰化雑草にも有効である。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】 ……………

- 容器をよく振ってから、使用量に合わせて薬液を調製して使いきる。
- 砕土、整地及び覆土は丁寧に行う。
- とうもろこしは種後、乾燥が続くと予想される場合は、除草効果が安定する生育期（とうもろこし2～4葉期）に散布する。
- イチビの防除を行う場合には、所定量の範囲内で多めの薬量を散布する。

### 【薬効・薬害等の注意】 ……………

- 土壌が極端に乾燥している場合には、除草効果が劣ることがあるので、所定量の範囲内で散布水量を多めにし、丁寧に散布する。
- 極端な過湿土壌及び砂質土壌で使用する場合には、生育を抑えることがあるので、少なめの薬量を散布する。
- 砂土では使用しない。
- 展着剤は加用しない。
- 有機物の多い土壌や粘土質の土壌では、所定量の範囲内で多めの薬量を散布する。

●適用作物（とうもろこし、ソルガム）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●適用外作物（周辺作物）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●水稲に薬害を生じるおそれがあるため、当年又は翌年の水稲栽培をさける。

●とうもろこしのマルチ栽培に使用する場合は、薬害を生じるおそれがあるので注意する。

○は種前に使用する場合は、所定量の範囲内で少なめの薬量を散布する。

○は種後（発芽前）に使用する場合は、土壌の高温又は過湿が予想される場合は使用をさける。

●ソルガムに使用する場合は、次のような条件下では出芽抑制及び生育抑制等の薬害を生じるおそれがあるため、使用をさける。

○過湿土壌及び砂質土壌。

○散布直前に降雨があった場合。

○散布直後に降雨が予想される場合。

○出芽直前の場合。

●周辺作物に薬液が付着すると薬害を生じるので散布液が飛散しないように注意する。近くに広葉植物、その他本剤に弱い浅根性作物がある場合には特に注意する。

### 【安全対策上の注意】 ……………

●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにする。



【適用と使用法】 .....

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		使用方法	本剤の使用回数
			薬量	希釈水量		
とうもろこし 飼料用とうもろこし ヤングコーン	一年生雑草	マルチ前・は種前 (雑草発生前)	140 ～ 260 ml	70 ～ 150 ℓ	全面土壌散布	1 回 ※
		は種後発芽前 (雑草発生前)		70 ～ 100 ℓ		
		生育期 (とうもろこし 2 ～ 4 葉期)				
ソ ル ガ ム		は種直後				
う ど		定植後萌芽前 (根株養成圃) (雑草発生前)	250 ml	100 ℓ		

※アトラジンを含む農薬の総使用回数 : 1 回

※メトラクロール及び S－メトラクロールを含む農薬の総使用回数 : 1 回